

世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド(毎月決算型)

<愛称:グローバル・ポケット(毎月決算型)>

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド(毎月決算型)」は、2017年8月15日に第81期決算を行いました。当ファンドは、主として、世界のインフラ関連企業が発行する上場株式などに実質的に投資します。企業の安定的なキャッシュフロー創出能力などに着目します。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに第76期から第81期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2017年2月16日～2017年8月15日

第76期	決算日：2017年3月15日
第77期	決算日：2017年4月17日
第78期	決算日：2017年5月15日
第79期	決算日：2017年6月15日
第80期	決算日：2017年7月18日
第81期	決算日：2017年8月15日

第81期末 (2017年8月15日)	基準価額	11,680円
	純資産総額	2,273百万円
第76期～ 第81期	騰落率	3.9%
	分配金合計	260円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

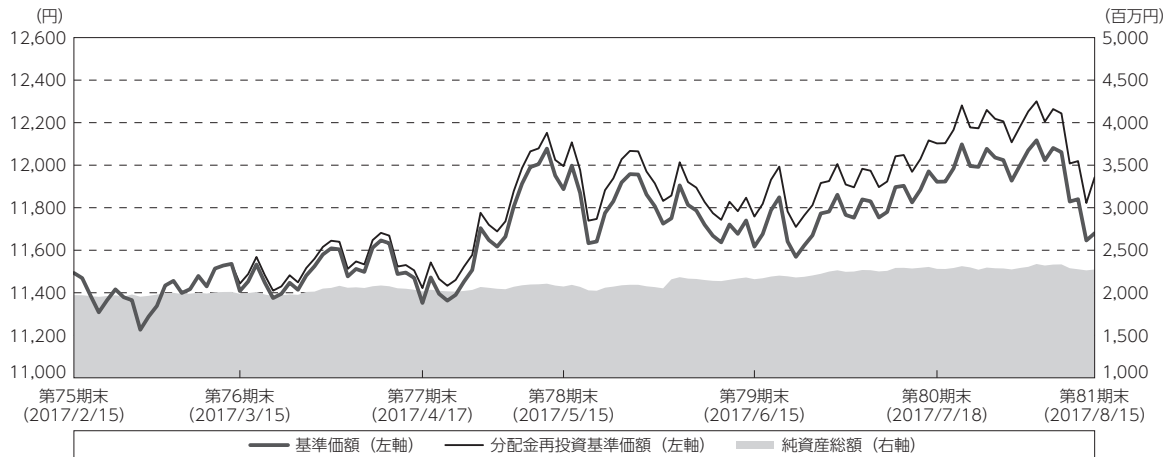
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移 (2017年2月16日～2017年8月15日)



第76期首：11,493円

第81期末：11,680円 (既払分配金:260円)

騰落率：3.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。)を通じて主として世界のインフラ関連企業が発行する上場株式等に実質的に投資します。

当作成期間は、株式はプラス寄与した一方、為替はマイナスに寄与した結果、基準価額は上昇しました。株式については、原油価格の下落を受けて「石油・ガス 貯蔵・配送」セクターの銘柄などが下落したものの、「通信」や「有料道路」セクターなどの銘柄が上昇しプラスに寄与しました。為替については、米国での早期利上げ観測が後退したことやトランプ政権の政策手腕への期待後退から米ドル安が進みマイナス寄与となりました。

1 万口当たりの費用明細 (2017年2月16日～2017年8月15日)

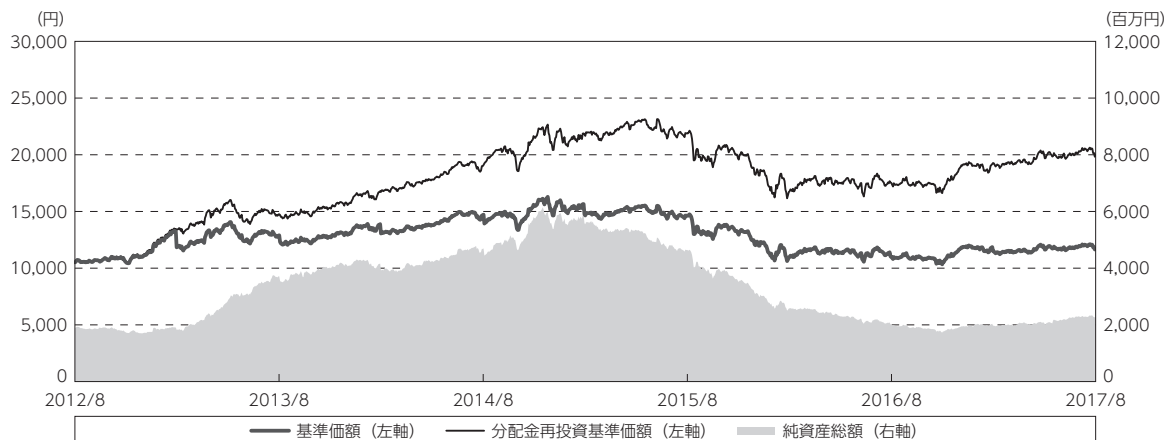
項目	第76期～第81期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	105 (55)	0.900 (0.471)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(47)	(0.402)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.082	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株 式)	(9)	(0.078)	
(投資信託証券)	(1)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	2	0.016	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	10	0.083	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.014)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(7)	(0.064)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	127	1.081	
期中の平均基準価額は、11,655円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2012年8月15日～2017年8月15日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2012年8月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2012年8月15日 決算日	2013年8月15日 決算日	2014年8月15日 決算日	2015年8月17日 決算日	2016年8月15日 決算日	2017年8月15日 決算日
基準価額 (円)	10,512	12,316	13,930	14,648	11,028	11,680
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	2,185	2,030	1,245	685	860
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	39.7	31.0	14.2	△ 20.1	14.1
参考指数の騰落率 (%)	—	43.3	29.9	14.4	△ 13.7	13.6
純資産総額 (百万円)	1,896	3,555	4,442	4,620	2,019	2,273

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はDow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

(注5) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算してあります。

■ 投資環境 (2017年2月16日～2017年8月15日)

当作成期間のグローバル株式市場は上昇しました。第76期初は、米国のトランプ政権の経済対策に対する期待から上昇基調となりました。2017年3月以降は、欧州経済の回復期待が高まったことで欧州株式が堅調に推移しました。しかしながら、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が量的緩和縮小の可能性について言及するとやや上値の重い展開になりました。夏場にかけて良好な企業決算を受けて上昇する場面もあったものの、第81期末にかけてはトランプ政権の政策の実現性に対する不透明感から株式市場が軟調となる場面もありました。

こうしたなか、原油価格の下落を受けて北米の「石油・ガス 貯蔵・配送」セクターが下落し、インフラ株式はグローバル株式を大幅に下回るパフォーマンスとなりました。

■ ポートフォリオについて (2017年2月16日～2017年8月15日)

● 当ファンド

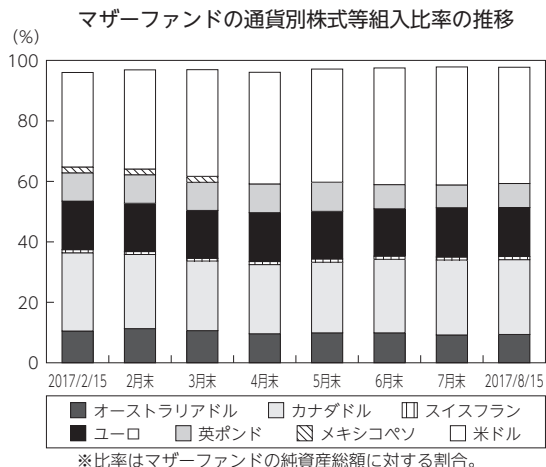
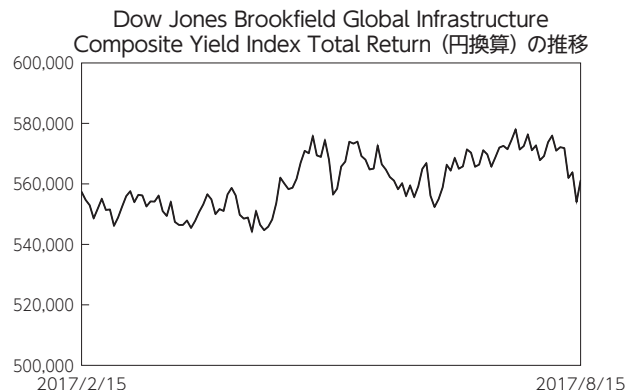
当作成期間を通じて概ねマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。第81期末時点のマザーファンドの組入比率は97.2%としました。実質株式等組入比率は、95.0%程度としています。

当作成期間の基準価額の騰落率は+3.9%（分配金込み）となり、一方、Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算) (以下「参考指数」といいます。)は、同期間で+0.7%となりました。

● マザーファンド

当作成期間、高配当利回りの安定的な実現と長期的な成長が見込めるピュア（純粋）なインフラ企業を重点的に選択するという投資目的に沿うようポートフォリオ構築を行いました。

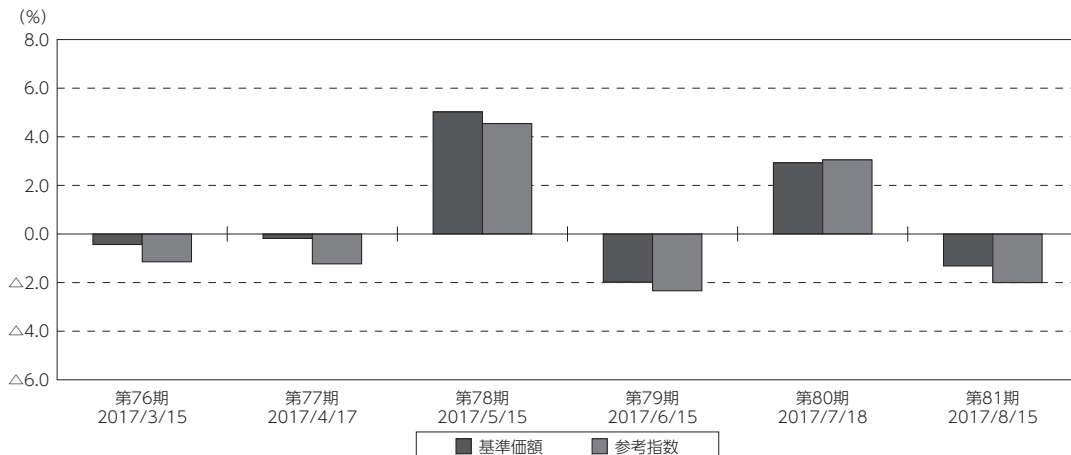
2017年1月末から2017年7月末までの地域別寄与を見ると、英国を除く欧州及び北米がプラス寄与となりました。セクター別では、「通信」セクターがプラスに寄与しました。



ベンチマークとの差異について (2017年2月16日～2017年8月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

【基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)】



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金 (2017年2月16日～2017年8月15日)

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、第76期から第80期はそれぞれ1万口当たり35円とし、第81期は付加分配と合わせて1万口当たり85円とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2017年2月16日～ 2017年3月15日	2017年3月16日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月15日	2017年6月16日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月15日
当期分配金	35	35	35	35	35	85
(対基準価額比率)	0.306%	0.307%	0.294%	0.300%	0.293%	0.722%
当期の収益	0	9	21	35	35	9
当期の収益以外	34	25	13	—	—	75
翌期繰越分配対象額	4,435	4,411	4,399	4,475	4,487	4,413

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」(税込み)の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●市況見通し

高利回りかつ持続可能な利回りを有する実物資産の長期的な成長見通しは、依然として力強いものとなっています。長期的成長、持続可能な安定したキャッシュフロー、そして好配当利回りというグローバル上場インフラ株式の魅力が、同市場を今後もサポートしていくと見ています。

特にモバイルデータ通信量の増加に支えられ、かつ引き続きバリュエーションが魅力的な通信セグメントへのエクスポージャーを維持しています。また、欧州の「通信」セクターにおける潜在的な統合の流れについてバリュエーション面からも、引き続きポジティブに見ており、欧州の政治・経済環境を巡って足元の市場ボラティリティや先行き不透明感が高まっているものの、市場価格とファンダメンタルズ（基礎的諸条件）に乖離が生じている現在の環境は絶好の投資機会と捉えています。

また、北米の「石油・ガス 貯蔵・配送」セクターへの高めの配分を維持しています。米国やカナダにおける政治情勢が同セクターにとって有利な展開となっていることなどを背景に、過去数カ月間において確信度が更に高まっています。

米国を中心に今後の債券利回りについて不確実性が高まる中、市場では依然として代替収益源としての実物資産、特に「ディフェンシブ・グロース」の特徴を有するインフラ資産に対する旺盛な投資家需要が続くと予想しており、厳選しながらユーティリティ銘柄へのエクスポージャーを高めています。

●当ファンドの運用方針

引き続き、マザーファンドの高位組入れを通じて世界のインフラ関連企業が発行する上場株式などに実質的に投資を行い、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●マザーファンドの運用方針

引き続き、ボラティリティの高まりによってファンダメンタルズから乖離して株価が下落する局面を好機と捉え、投資を行っていく方針です。また、優良なインフラ企業によって創出されるキャッシュフローについても引き続き注目しています。

お知らせ

■寄付金について

第7回目の寄付金額等については次回の運用報告書に記載します。

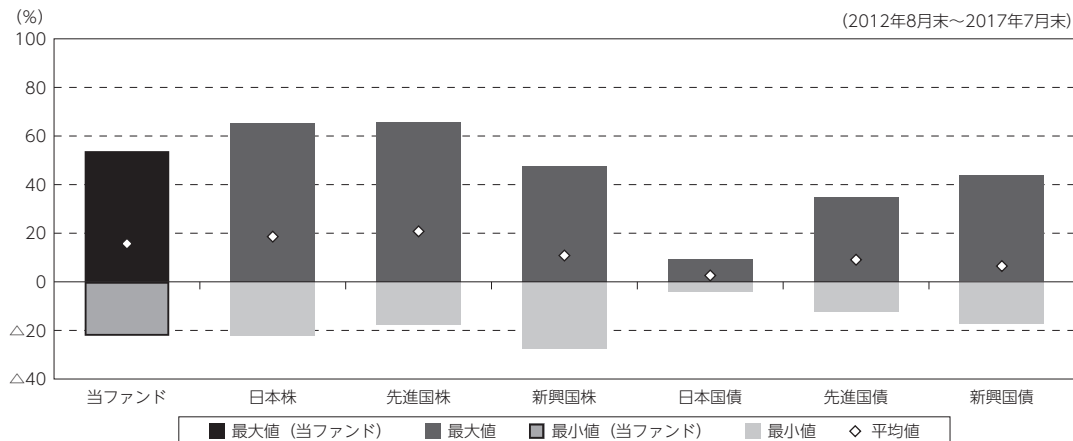
投資者のみなさまからいただく信託報酬の一部を、発展途上国を中心にインフラ改善などのために寄付します。

- ・販売会社が当ファンドの投資信託財産から委託会社を通じて収受した信託報酬の一部は、発展途上国を中心にインフラ改善事業などに取り組む団体などに寄付を行い、当該団体などを通じてインフラ改善の復興支援活動などに役立てられます。
- ・寄付金額は、純資産総額に対して年率0.05%程度を目処とし、当ファンドの信託報酬のうち販売会社が受け取る部分から支払います。ただし、純資産総額の増減やその他の諸条件を勘案して、変更される場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2010年8月30日から2020年8月17日までです。	
運用方針	配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	世界好配当ピュア・インフラ株式ファンド(毎月決算型)	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド受益証券。
	世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	新興国および日本を含む世界各国のインフラ関連企業が発行する上場株式(預託証券を含みます。)、株式に類似する権利およびインフラ関連の上場投資信託証券(以下総称して「株式等」といいます。)
運用方法	株式等の実質組入比率については、原則として高位を保ちますが、マーケット環境や資金動向を勘案して実質組入比率を投資信託財産の50%程度を下限として引き下げる場合があります。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。原則として利子・配当等収益を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、毎年2月および8月の決算時の収益分配金額は、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配を行う場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	53.8	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 22.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	15.7	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2017年8月15日現在)

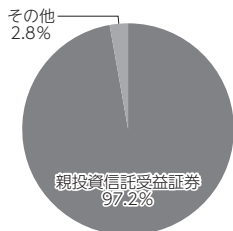
◆組入ファンド等

銘柄名	第81期末
	%
世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド	97.2
組入銘柄数	1銘柄

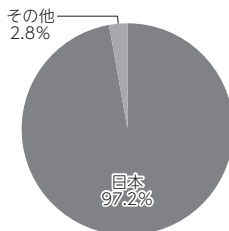
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載してあります。

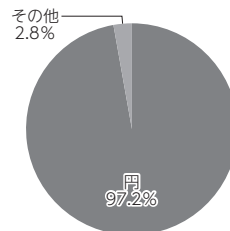
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

項目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
	2017年3月15日	2017年4月17日	2017年5月15日	2017年6月15日	2017年7月18日	2017年8月15日
純資産総額	1,987,769,407円	2,014,624,739円	2,073,432,315円	2,159,319,466円	2,280,936,659円	2,273,623,648円
受益権総口数	1,742,440,789口	1,774,631,522口	1,744,260,912口	1,858,765,858口	1,913,231,410口	1,946,603,605口
1万口当たり基準価額	11,408円	11,352円	11,887円	11,617円	11,922円	11,680円

(注) 当作成期間 (第76期～第81期) 中における追加設定元本額は439,139,807円、同解約元本額は208,858,698円です。

組入ファンドの概要

[世界好配当ピュア・インフラ株式マザーファンド]

◆基準価額の推移



◆1万円当たりの費用明細

(2016年8月16日～2017年8月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券)	36 (34) (2)	0.150 (0.143) (0.007)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託証券)	8 (8) (0)	0.034 (0.034) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	39 (7) (32)	0.163 (0.030) (0.134)
合計	83	0.347

期中の平均基準価額は、23,872円です。

(注1) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注2) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

◆組入上位10銘柄

(2017年8月15日現在)

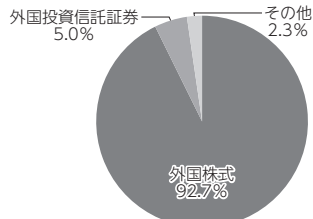
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	TRANSCANADA CORPORATION	エネルギー	カナダドル	カナダ	7.9
2	ENBRIDGE INC	エネルギー	カナダドル	カナダ	7.8
3	SEMPRA ENERGY	公益事業	米ドル	アメリカ	6.1
4	KINDER MORGAN INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	5.7
5	ENBRIDGE ENERGY MANAGEMENT LLC	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.1
6	WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.1
7	CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORPORATION	投資証券	米ドル	アメリカ	3.7
8	APA GROUP	公益事業	オーストラリアドル	オーストラリア	3.5
9	RAI WAY SPA	メディア	ユーロ	イタリア	3.5
10	INFRASTRUTTURE WIRELESS ITALIANE SPA	電気通信サービス	ユーロ	イタリア	3.2
	組入銘柄数		34銘柄		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

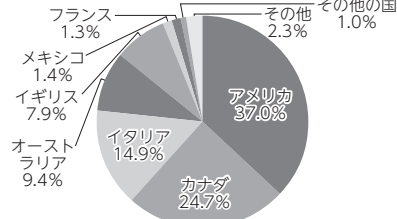
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

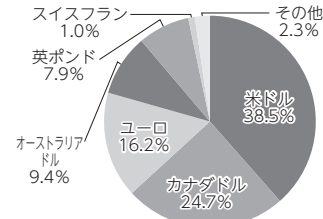
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<当ファンドの参考指数について>

- Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)
- ・ Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算) は、Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (米ドル建て) をアセットマネジメントOneが円換算したものです。Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (米ドル建て) は、インフラ施設の保有やオペレーションを主として行っている世界の企業の中で、相対的に配当利回りの高い銘柄で構成された指数です。
- ・ Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Returnは、公表している機関の知的財産です。同機関は、当該指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利を有しております。同機関はファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「シティ世界国債インデックス (除く日本)」は、シティグループ・インデックスLLCが開発した債券指数で、日本を除く世界主要国の国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。